

2019年度蔵前ゼミ開講の挨拶



小倉康嗣（蔵前工業会 神奈川県支部長）：皆さんの人生の3大イベントは、(1) 入学、(2) 就職、(3) 結婚です [3つ目は経験しない人もいるかもしれませんが]。それらの節目でいろんなことを考えると思いますが、常に念頭に置いて欲しいのは、**情熱・努力・**

信頼ということです。勉強にも遊びにも情熱は必要です。天才といわれる人も努力しています。信頼がなければ、人間関係もビジネスも社会も成り立ちません。本ゼミを通して、皆さんの先輩の経験を追体験することによって、これら基本的素養のレベルアップを図って下さい。

20190426（すずかけ台キャンパス）新入生歓迎会



新入生歓迎会の様子（すずかけホール3F ラウンジ）



司会の大関祥久さん（B3）



鈴木登夫（蔵前工業会理事・会員部長）：蔵前工業会を代表して新入生の皆さんにお祝いを申し上げます。東工大発祥の地が「蔵前」ですので同窓会は蔵前工業会と称しています。是非、生涯にわたって会員のメリットを享受して下さい。学生時代に友達をたくさん作っておきましょう。一生の宝物になります。

き出し、伸ばすことができません。皆さんの成長した姿を見るのが私たち教員にとって一番嬉しいことです。受け身でなく、能動的な日々を過ごしましょう。



岡村哲至（学生支援センター副センター長）：大学院に入学した皆さんは、学歴でいえば上がありませんので、最終段階に入ったこととなります。学業主体の日々が変わらないかと思いますが、そんな中でも社会に出ることを意識し始めていることでしょうか。自分の研究と社会とのかわりについて考えることから始めて、長い目で見た自分のキャリア・デザインを心掛けてください。それを支援するために、大学と同窓会が連携してOB/OGの方々に「キャリア・アドバイザー」や「くらまえアドバイザー」になって貰っていますので活用してください。

益一哉（学長）：皆さん、入学式に出ましたね。その時の挨拶【**協調と挑戦でいこう!**】を思い出してください（英語で行った挨拶は次のサイトで読むことができます：https://www.titech.ac.jp/about/president/message/spring_entrance_2019_02.html）“...pursue your passions autonomously ... and create your unique, individual stories ... through collaborative challenges...” 協調心と挑戦心とアカデミックガウンを身に付けて卒業式に臨んでくれば、皆さんと一緒に記念写真に応じます。



三原久和（生命理工学院長）：すずかけ台は研究には最適の場所です。研究中心に勉学に励んで欲しいと思いますが、その時に“やりがい”を持って、かつ“楽しく”やらないと皆さんに備わったポテンシャルを思うように引

本房文雄（蔵前工業会事務局長）：蔵前工業会は、皆さんの学生生活を側面から支援するべく大学との連携に力を入れています。今日大きな景品を手にした人もそうでなかった人も皆一緒になってこれからも同窓会主催のいろいろな会に参加し、向上の機会にしてください。そして、受けた恩は卒業後に同窓会員として後輩に返すようにしましょう。